

第16回日本運動器疼痛学会  
2023年11月3日(金・祝)～11月4日(土)

ランチョンセミナー 3

# 痛みに寄り添う "やさしい"診療を考える

日時

11月3日(金・祝) 12:30～13:30

会場

第3会場 富山国際会議場 2F 「203・204」

座長

大鳥 精司 先生

千葉大学大学院医学研究院整形外科学 教授

演者

鉄永 倫子 先生

岡山大学病院運動器疼痛センター 副センター長  
岡山大学病院整形外科 講師

日本整形外科学会 教育研修単位のいずれか1単位が取得できます。  
(受講料 1講演 1,000円)

単位種別 :Re  
必須単位分野番号 :[13]リハビリテーション(理学療法、義肢装具を含む)

共催：第16回日本運動器疼痛学会  
あゆみ製薬株式会社



Abstract

# 痛みに寄り添う "やさしい"診療を考える

岡山大学病院運動器疼痛センター 副センター長  
岡山大学病院整形外科 講師

鉄永 倫子

痛み診療は個々の症例で多彩な症状や訴えがあり、また、心理社会的な因子が複雑に絡み合うことによって診療に難しさを感じることもあるのではと思います。岡山大学病院では多職種が診療に関わる「痛みリエゾン外来」を設立し、日々模索しながら診療体系の構築を図っています。一人の患者さんをいろいろな職種で診療する場合、「同じことを何度も聞かれる」、「毎回時間がかかる」、「疲れる」、「アドバイスが迷う」、「何かしてくれると思ってきたのに話をするだけ」などのネガティブな意見や一方で、「薬の内服の仕方がわかった」、「動くことがよかった」、「痛みは0ではないができることが増えた」、「毎回いろいろなことを教えてもらい前向きになれた」などのポジティブな意見をいただいています。限られた時間の中で多職種で診療するにあたり、基本に立ち返り、各職種の役割をはっきりさせ、重複した内容をなるべく聞きすぎないように、そして、患者さんにわかりやすく易しい、かつ、身体に優しい診療を目指しています。そこで本講演では、適度な聴く姿勢に徹した痛みに寄り添う"やさしい"診療についてご紹介し、今後の多職種のメディカルスタッフの参考となりましたら幸いです。